



毎月第3金曜日は、川西市の「人権デー」です！

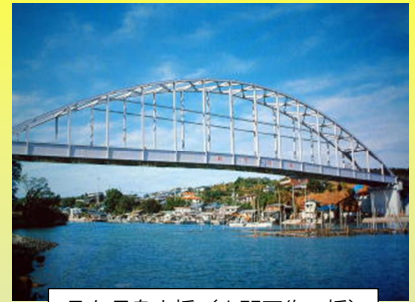
★1月29日は、「世界ハンセン病デー」です。

昨年12月に川西市人権推進多文化共生課が実施しました現地人権学習会（国立療養所 長島愛生園）に参加された方の感想文（抜粋）を紹介します。

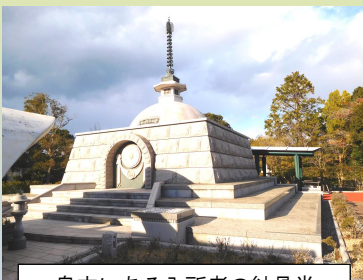
国立療養所「長島愛生園（岡山）」の現地人権学習会に参加して

▶初めて参加させていただきました。ハンセン病という病名は聞いたことがありましたが、詳しくは知りませんでした。その背景も含め今回の学習会で知ることができました。

はじめに感じたことは、「コロナ」が広がった時の状況と似ているなと思いました。感染した人は隔離され、消毒され、宿泊施設での療養……。まさに同じ扱いだっただと……。コロナ感染した人に対しての接し方、後遺症で今でもつらい思いをしている人たちへの対応をハンセン病問題の経験（教訓）を通して、今後も差別をなくし、一人ひとりの人権を尊重し、子ども世代へも伝えていかないといけないと思いました。



邑久長島大橋（人間回復の橋）



島内にある入所者の納骨堂

▶数年ぶりに愛生園を訪れた。相変わらず瀬戸内の海は目の前にあまりにも美しく広がっていた。その中で、信じがたい優生思想のもと、隔離、収容が行われてきた悲しい歴史を資料や職員の方の解説を通じて目の当たりにした。その中で、患者の方々の、頑張りや工夫や助け合う生活の話を聞いて、少し希望を持った。人間って捨てたものではない、どんなに悲惨な環境のなかでも、それに抗い、生きること^{あらが}に希望を求めていく強さに感動した。様々な可能性が日々狭められる中で、抗い生きる意味を求めてこられた元患者の方々の力に、これからも学んでいきたいと思う。

◆「長島愛生園」…岡山県瀬戸内市にある、1930年日本初の国立療養所として誕生。1945年頃特効薬ができ、やがて完全に治癒させることができるようになりましたが、隔離政策は1996年の「らい予防法」廃止まで続けました。

ハンセン病という病気は治っているにもかかわらず、入所者はすでに高齢化しており何らかの後遺症を有し、未だ偏見・差別などのため、社会復帰が困難な状況にあります。このため、ほとんどの人が愛生園を「終の棲家」（ついのすみか）として生活されています。 ※現在（R5.12月）入所者88人、平均年齢 88.5歳

★特設人権相談★

無料/予約優先

◆1月19日(金) 午後1時～4時

市役所4階人権推進多文化共生課相談室

※人権擁護委員による相談をお受けします。

<問い合わせ> TEL740-1150 人権推進多文化共生課

<総合センター>

「人権啓発ビデオ上映会」

◆1月19日(金)

無料

①午前10時～ ②午後1時～ ③午後4時～ (3回)

作品：「ハンセン病を知る～元患者と家族の思い」

(34分)

<問い合わせ> TEL758-8398 総合センター